

全国食支援活動協力会とは

全国にはコミュニティに暮らす人自らが参加して行う食支援活動があります。高齢者のための会食会から始まった活動は、各地で子どもから高齢者まで多世代に向けた活動として広がりをみせています。全国食支援活動協力会では、時代の社会課題に応じた食事サービスの育成や推進、ネットワークの形成に取り組んでいます。

私たちが考える食支援大切にしていること



コミュニティ

共同作業や体験を通して世代が違ふ人と交流できる。安心して居場所をつくる

栄養

健やかな身体を維持するために、バランスの取れた食事を提供し、低栄養や病気を防ぐ

自治

誰もが安心して暮らせる地域社会に向けて、行政と協働したり、まちづくりに参画する

福祉

利用する人のQOLを高め、安否確認をしたり、必要な機関や福祉サービスにつなぐ

アドボカシー

地域に暮らし、地域を担う主体者として、みんなが使いやすいサービスをつくる

参加団体からの声



先進的な活動事例を聞くことができ、勇気ももらって、「子ども食堂」という新たな活動も始めることができました。
(大阪府 高齢者在宅サービス・子ども食堂)

行政との関係・衛生環境など「こんなとき他の団体はどうしてるの?」という疑問にこたえてもらっています。
(東京都 配食サービス・会食会)



会を通じて知り合った県外の団体とお互いの活動を見学し合うことで、メンバーの意識が高まりました。
(群馬県 居場所事業・配食サービス)

全国食支援活動協力会に参加しませんか

食を通じて誰もが暮らしやすい地域の実現に向けて、理念に共感してくださる方を募集しています。
どなたでもお申し込みいただけます。

こんな方々が私たちの会員です

- 高齢者や障害者向けの配食サービス、会食サービス活動団体
- 子ども食堂やコミュニティカフェ・レストラン
- 福祉作業所、就労支援の場としての食事サービス活動団体
- 社会福祉、栄養、まちづくりの研究者
- 社会福祉協議会などの中間支援団体
- その他、会の取組みに賛同する個人の方々

正会員 団体会員 10,000 円
個人会員 5,000 円

賛助会員 一口 10,000 円
(会員として会をささえてくださる方)

※正会員のみ、会員総会で議決権があります。
入会申し込み・振込みについては事務局までお問い合わせください。

会員特典

当会主催の研修等へのご案内

活動団体同士が共に学び、スキルを高める機会として、全国セミナーを開催しています。食支援活動の動向や先駆的な取組みの紹介、栄養やまちづくりなど様々な視点から企画・運営されています。



全国の住民参加型食事サービス活動団体とのネットワーク

食を通じて誰もが暮らしやすい地域の実現に向け、理念を共有する全国各地の会員(個人・団体・企業等)のネットワークに参加できます。



その他

- 食支援活動に関する情報の発信
- 教育、調査研究、政策提言
- 助成情報の提供・推進、寄付物品の斡旋など



お申込 お問合せ先

一般社団法人 全国食支援活動協力会
〒158-0098 東京都世田谷区上用賀6-19-21
TEL: 03-5426-2547 FAX: 03-5426-2548
E-mail: infomow@mow.jp



Meals on
Wheels Japan



一般社団法人
全国食支援活動協力会



たべる人もつくる人も
子どもも高齢者も
その人らしくいられる。
食がつなぐ地域の居場所。

世代を問わず誰でも参加できる「食」の活動は、
人のぬくもりを感じられる居場所を生み出しています。

「食」を通じた地域の見守りとケアが
やりがいの一つでもあります。

一人でごはんを食べている子ども、
出産したばかりのお母さん、
食事の用意が大変になってきた高齢世帯、
生活習慣病により食生活の見直しが必要な人など、
様々な人へ食の自立をサポートします。

たべる人もつくる人も、
ひとりひとりが自分の居場所や役割、
楽しみを地域のなかで見つけることができる活動です。

特別な知識や技術はいらないけれど、
一人ではできないのが地域の活動です。
食が育む地域づくりを
全国食支援活動協力は応援しています。



食を通じたコミュニティを生み出しています。



配食サービス

利用者の自宅まで食事を配達し、安否確認を行います。家事の負担軽減や栄養バランスの改善を目的としています。



コミュニティカフェ

来たい人が自由に入りできて、食事のできる地域の居場所。コミュニティレストランとなっているところもあります。



会食会

集まって一緒に食事と会話を楽しむスタイル。住民が主体的に食を通じたコミュニケーションの場をつくっています。



子ども食堂

孤食の解消、共食体験の提供、学習支援等テーマは様々。食を通し地域で子どもの成長を見守る取り組みです。



料理教室

高齢者や男性を対象にした料理教室。介護予防の観点から元気なうちに調理技術と知識を身につけることが狙いです。



食育活動

食文化の継承や介護予防、子どもの健やかな成長に向けて、食べ物と栄養についての知識を深める取り組みです。



法人のなりたちとあゆみ

1985年

東京・世田谷で活動をしていた「老人給食協会ふきのとう」がオーストラリアの団体「MOWSA」を招いて開催した日豪シンポジウムをきっかけに、国内の関係団体を結ぶネットワークづくりへの動きが始まりました。

1986年

団体間の情報交換を目的に「全国老人給食連絡協議会」が発足。「ふきのとう」に事務局を置き、地域住民による食事サービス活動の広報や研修のための出版活動、イベントを行い、会員の輪が全国に広がりました。

1995年

全国老人給食協力会に改称し、活動を高齢社会に対応できるサービスとして育てていくために、行政・社会福祉協議会・企業・教育機関と連携し、調査研究や研修事業、新しい活動団体の設立支援へ、活動を展開させました。

2017年

地域社会のニーズの変化や会員団体の活動の多様化・多世代化に対応し、食を通して誰もが暮らしやすい地域をつくる活動を推進していくと、団体名を新たな名称「全国食支援活動協会」に変更しました。